

令和2年度東大阪市地域研究助成金事業の研究成果の今後の活用について

研究テーマ	ナッジの活用（情報発信）と啓発（省エネ授業）による低炭素行動変容に関する実証実験 ～トライくんとめざす東大阪版・温暖化防止（SDGs 目標13）～
担当部署	環境部環境企画課

研究の希望理由	<p>本市域の地球温暖化対策については「東大阪市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定して推進している。実行計画に基づき推計している本市の温室効果ガス排出量の中で、民生家庭部門（一般家庭からの排出）の削減割合は他部門に比べて小さく、また国の地球温暖化対策計画においては民生家庭部門の温室効果ガス削減目標は2013年度比で2030年度までに40%としている。</p> <p>これらの背景より、一般家庭においては今後さらなる省エネ・省CO₂化を図る必要があることから、本市の一般家庭における地球温暖化対策の一助とするために、研究を希望したものの。</p>
研究内容	<p>人々が自発的に望ましい行動を選択するよう促す手法である「ナッジ」（情報発信）や市内小学生を対象とした省エネ授業を通じて、低炭素化行動への変容の検証を行ったもの。</p> <p>具体的には、以下3点を実施した。</p> <p>①市内小学校における省エネ授業の実施 ②省エネアドバイザーによる簡易うちエコ診断の実施 ③ナッジを活用したリーフレット配布による行動変容比較</p>
研究成果	<p>①市内小学校における省エネ授業の実施</p> <p>省エネ授業の教材については、大阪産業大学において作成。新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行った上で、作成した教材を使用して意岐部小学校と楠根東小学校の2校で実施した。</p> <p>②省エネアドバイザーによる簡易うちエコ診断の実施</p> <p>大阪府みどり公社で省エネアドバイザー養成講座を受講した大阪産業大学の学生に依頼し、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行った上で、東大阪市消費者団体協議会の協力の下、14名対象に実施した。</p> <p>③ナッジを活用したリーフレット配布による行動変容比較</p> <p>省エネ授業を実施した楠根東小学校の協力の下、リーフレットを配布したグループとそうではないグループを比較したところ、配布したグループの方が一定省エネ行動への変容が見られた。</p>

<p>研究成果の 今後の活用</p>	<p>本研究過程で製作した省エネ授業コンテンツやナッジのリーフレットについては環境教育出前講座の実施時に活用していく。また、大学生による環境教育出前講座は、授業を受ける小学生と年齢が近いこともあり、授業中の反応も良かったことから、今後の出前講座実施の新たな取り組みの1つとして検討していく。</p> <p>さらに、簡易うちエコ診断については、今後受診者数を増やしていく方針だが、診断ができる省エネアドバイザーの担い手不足が課題の1つとなっていたので、大学生との連携による実施はその解決策の1つとして考えている。</p>
------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------